



発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市粕壁東  
6丁目7-12  
電話 748-5159  
FAX 748-5179

## 12月定例市議会閉会

### 「非核三原則堅持」意見書を採択

12月18日、12月定例市議会が閉会しました。市長提出議案23件はすべて可決成立しました。

日本共産党市議団は、水道事業の民営化につながる「ウォーターPPP導入可能性調査業務委託」を盛り込んだ水道事業会計補正予算、1議案に反対しました。

市民からの請願「都市計画審議会委員への宅地建物取引士の登用を求める請願」(埼玉県宅地建物取引業協会提出)「学校体育館を有効活用し、猛暑から子どもを守り、元気に楽しく過ごせる場所を求め

る請願」(新日本婦人の会春日部支部提出)は、いずれも全会一致で可決となりました。

#### 放課後児童クラブ 保育の質実現できない

最終日に補正予算が追加提案されました。18歳以下の子どもに2万円支給(6・2億円)と、放課後児童クラブ損害賠償金(約3800万円)。放課後児童クラブ常勤支援員が欠員であったにもかかわらず、欠員分の人件費も含めた指定管理料が支払われていたため、保護者などが訴えて

#### ●請願と党市議団提案の意見書に対する各会派の賛否

	請願	党市議団提出の意見書				
		学校体育館を活用し猛暑から子どもを守る場を	衆議院定数を削減しない	削減を	2%を中止し、防衛費GDP	非核三原則堅持
日本共産党(4)	○	○	○	○	○	○
新政の会(7)	○	×	×	×	○	×
次世代かすかべ!(6)	○	×	×	×	○	×
公明党(6)	○	×	×	○	○	×
立憲民主党(1)	○	○	○	×	○	○
日本維新の会(1)	○	×	×	×	×	×
無所属(榛野)	○	×	×	○	○	○
無所属(酒谷)	○	○	○	×	×	×
無所属(古沢)	○	○	○	○	○	○
無所属(金子)	○	×	×	×	○	×
結果	○	×	×	×	○	×

いました。11月13日に東京高裁で原告勝訴の判決があり、市は平成31年と令和2年分あわせて3000万円を損害賠償請求しました。

継続的にかかわりを持つという保育の質を実現することはできない」としつつ、「職員不足を直接の原因とした事故等はおろかかわれない」と、金額は訴えの10分の1以下にとどまりました。

＜生活相談は日本共産党へ＞

並木としえ TEL 090-3916-0168

大野とし子 TEL 090-7843-4945

今尾やすのり TEL 090-1032-4833

木下みえ子 TEL 050-3559-1640

日本共産党市議団ホームページ

<https://www.jcp-kasukabe.jp/>



## 木下みえ子議員一般質問



## 商工業振興で住宅リフォーム助成を

## 通所施設移転は当事者の声を最優先に

12月15日木下みえ子議員は①住宅リフォーム助成制度の充実と市内事業者支援を②リサイクルショップは利用者・当事者の要望を最優先に、の2点について一般質問をおこないました。

市民や事業者の声で  
ニーズに沿った施策を検討

今年度の住宅リフォーム助成事業は5月12日に受付を開始し一週間で予算枠が終了しました。予算は当初予算1300万円、国の交

付金を活用し令和6年度補正予算で500万円、あわせて1800万円でした。

予定実績は、交付件数212件、交付額は1786万円です。交付事業者の内訳は市内業者183件、市外業者は29件となっています。助成対象工事費は全体で3億2700万円、市内業者は2億7900万円となり大きな経済効果を生み出しました。

木下議員は「事業効果を見れば、市の事業拡充についての予算配分は疑問に感じる。商工業振興としての住宅リフォーム助成事業の役割や効果について認識は」と質しました。

環境経済部長は「本事業は住民の暮らしを支える住

宅施策と同時に地域経済循環を促進する商工業振興施策であると認識し、今後も商工業振興基本条例の理念を踏まえて施策を着実に推進したい」と答弁しました。

木下議員は「住宅リフォーム助成事業の拡充は当然ですが、物価高騰や人材・後継者不足の課題解決のため中小企業や小規模事業者支援を」と市長に求めました。

市長は「市民や事業者の声にしっかりと耳を傾け住宅リフォーム助成事業も含めニーズに沿った施策を検討したい」と答えました。

移転ありきでなく  
現在の場所で存続を

リサイクルショップを含む障害者通所支援施設個別施設計画は現在、移転予定地の測量・調査や旧庄和保健センター解体工事及び新

施設の設計の業務委託などが進行しています。

計画時から利用者の懸念であった、通所に必要な支援については、指定管理者と市が協議を進めており現在でも決定していません。

木下議員は「移転の計画について、事前の相談もなく送迎も未定で、当事者との懇談会でも反対や不安の声が現在も出されています。当事者の要望は『私たちのことを私たち抜きで決める』ということにつきまです。市は一度立ち止まって当事者の皆さんと計画を検討し、移転ありきではなくリサイクルショップは現在の場所での存続を求めます」と市長に質しました。

市長は「今後も利用者に寄り添うことで福祉サービスの質の向上が図られると考えている」と答弁。

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

12/28(日) 内科系 かすかべ消化器内科クリニック(谷原新田2177-1) ☎796-0230 小児科系あゆみ

クリニック(大枝400-4) ☎731-3283 外科系 いかわ耳鼻咽喉科医院(大倉378-4) ☎746-8733

12/31(水) 内科系 春日部中央総合病院(緑町5-9-4) ☎736-1221 小児科系 浜崎医院(備後西3-8-57)

☎745-6000 外科系 館浦整形外科医院(永沼2230-1) ☎746-4832